

令和7年度予算が成立



このQRで
YouTubeが
ご覧頂けます。

- 令和7年度予算案は、高額療養費に係る予算を参議院で修正して可決し、衆議院に回付の後、衆議院で同意され3月31日に成立しました（本手続きは憲政史上初）。
- 農林水産関係の予算は、キャッチボール通信VOL.33(R7.1.1)で報告したとおり可決、措置されており、令和6年度補正予算と一体に現場の課題を解決するために早期執行を図る必要があります。

土地改良法が改正

- 3月31日、土地改良法の改正法案が参議院本会議において可決・成立しました。
- 改正土地改良法の主な内容は、土地改良施設の老朽化並びに自然災害の激甚化及び頻発化に対応して土地改良施設の保全等を図るため、①損壊の危険性が高い農業水利施設を農業者負担ゼロかつ国・都道府県の発意で防災事業を実施できる仕組みを措置（いわゆる急施の事業の拡充）、②農家負担ゼロの農地中間管理機構関連事業の実施主体に市町村を追加、また事業対象に農地中間管理機構の所有農地を追加、③基幹的な農業水利施設の更新について農業者の申請でなく国・都道府県の発意で事業実施できる仕組みを措置（①とは別で原則として農業者の同意と負担が必要）、④土地改良区が市町村など地域の関係者と連携して農業水利施設の保全を行う仕組み（水土里ビジョン）を措置することになっています。また、同日議員立法である棚田地域振興法の改正法案と山村振興法の改正法案も参議院本会議において可決・成立しました。

食料・農業・農村基本計画が閣議決定見込み

- 4月の早い時期に食料・農業・農村基本計画（新基本計画）が閣議決定見込みです。
- これまでの検討の中で、新基本計画の第4章「食料、農業及び農村に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策」には、①我が国の食料供給、②輸出の促進（輸出拡大等による「海外から稼ぐ力」の強化）、③国民一人一人の食料安全保障・持続的な食料システム、④環境と調和のとれた食料システムの確立・多面的機能の発揮、⑤農村の振興、⑥国民理解の醸成、⑦自然災害への対応、と7分野にわたっての具体的な施策が位置付けられ、今後5年間で農業の構造転換を集中的に推し進めることとしています。この基本計画の策定に当たり、私は自民党内の様々な委員会で発言や提言取りまとめを行い、それらが計画に反映されています。今後は新基本計画の着実な実施に向け、予算の確保等に努力してまいります。

中山間地農業を元気にする委員会の提言

- 2月13日、私が委員長を務める自由民主党中山間地農業を元気にする委員会で、新基本計画に反映できるように中山間地農業を元気にする提言をとりまとめました。提言は、「中山間地農業を振興するための基本的な考え方」、「中山間地農業の具体的施策」、「中山間地農業の今後の検討方向」の3部構成となっています。

- 特に、「具体的施策」では、(1)中山間地農業を「支える」ための施策、(2)「関わる」者を増やすための施策、(3)「稼ぐ」ための施策について具体的な進め方の提言を行い、さらに「今後の検討方向」では、農業を中心に持続

可能な姿に転換するオーダーメイドのプロジェクトとして、国が地域の自主性を尊重して集中的に支援する仕組みとして、①中山間地農業について、「支える」、「関わる」、「稼ぐ」の視点から食料自給力の維持向上を図るための具体的施策をメニュー化、②地域計画をベースとして従来の中山間地域等直接支払制度の協定組織をネットワーク化、③ネットワーク化した広域組織が施策メニューから施策を選択してパッケージ化し、国に一括申請、④国は一括採択して交付金等を一括交付する仕組みを構築すべきと提言しました。

- 今後とも、私のライフワークとして中山間地域の農業農村の振興に向けてしっかりと取り組んでまいります。



自民党国土強靱化推進本部で意見

毎日元気に活動しています。

各種会議・集会等に参加し、積極的に活動を実施しています。



参議院農林水産委員会に出席



自民党食育調査会で意見



自民党野菜振興議員連盟で意見



自民党漁港漁場議員連盟で意見

各地で皆さんと意見交換

国政報告会の開催、各地での各種会議等を通じて、多くの皆さんの声や現場の状況を聴かせていただいております。



鹿児島県日吉 吹上地区で土地改良関係者に講演



香川用水施設緊急対策事業完了報告会で挨拶



山形県天童市で打合わせ



沖縄県国頭村で豪雨災害の現地調査



滋賀県下で土地改良関係者に国政報告・意見交換



山村振興特別委員会で長野県木曽町の現地視察

皆様からたくさんの質問や激励をいただいています。



令和7年度農業農村整備関連事業の予算のポイントを教えてください。



令和7年度農業農村整備事業関連予算は4,464億円、令和6年度補正と合わせて6,500億円(対前年度比260億円増)です。新規拡充事項としては、農地中間管理機構関連農地整備事業の事業主体に市町村が追加され、採択要件として麦・大豆等への作付転換を推進するために受益面積の30%以上の転換と単収の20%以上向上で採択を可能としました。さらに、土地改良施設維持管理適正化事業について、水土里ビジョンに位置付けた施設の整備補修の補助率を30%から40%に引き上げました。農山漁村振興交付金(情報通信環境整備対策)においては、位置情報を2~3cmまで補正できる基準局の単独整備を可能としました。



令和7年度森林整備事業並びに治山事業の予算のポイントを教えてください。



令和7年度林野公共等事業予算は1,881億円(森林整備:1,256億円、治山:625億円)で、令和6年度補正と合わせて2,735億円(対前年度比53億円増)です。森林整備事業では、森林吸収源の機能強化・国土強靱化に向け、間伐、主伐後の再造林、幹線林道の開設・改良等を、花粉発生源対策として伐採・植替え、路網整備等を推進します。また、治山事業では、山地災害から国民の生命・財産を守るため、令和6年能登半島地震・豪雨からの早期復旧、津波避難路を保全する治山対策の強化を行います。さらに、山地災害危険地区で発生した山火事跡地における防災林の造成と併せた治山施設の設置にかかる支援を強化することとしています。



令和7年度水産基盤整備事業の予算のポイントを教えてください。



令和7年度の水産基盤整備事業予算は731億円で、令和6年度補正予算と合わせては1,051億円(対前年度比21億円増)です。主な事業としては、(1)水産業の成長産業化に向けた拠点機能強化対策として流通拠点漁港等の機能強化及び養殖生産拠点の整備、(2)持続可能な漁業生産体制の確保対策として漁業生産力の強化、漁港施設の強靱化対策及び漁港施設の長寿命化対策、(3)漁村の活性化と漁港利用促進対策として漁港の環境整備及び漁村の生活環境改善を行うこととしています。スマート水産業の振興、養殖生産拠点の形成、漁港施設の耐震・耐浪化や長寿命化対策が図られ、漁業・漁村の発展につながるものと期待されます。

皆様のご意見や感想をお聞かせください。お待ちしております。

毎日の活動については、進藤金日子オフィシャルサイトをご覧ください。
<https://www.shindo-kanehiko.com>



ホームページ



Facebook



LINE



Instagram

参議院議員 進藤金日子事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館719号室
電話:03-6550-0719 FAX:03-6551-0719